2 平野環濠跡

平野環濠のつくられた時期は不明であるが、 戦国時代の動乱の時代に自衛と灌漑、排水 あるいは洪水の調節池としての役割をに なったと考えられる。まちの周囲にめぐらさ れた濠は平野川ともつながっていたことか ら、舟運もひらけ、繁栄の基礎ともなった。



3 大念佛寺 平野上町1-7-26 融通念佛宗の総本山で大治2年(1127)に聖 應大師が開基したと伝えられている。明治31 年(1898)の火災で多くの堂宇を失ったが、 現在の本堂は昭和13年(1938)に竣工し、府 下最大の木造建築物として国の登録有形文 化財に指定されている。また、境内のクスノキ とイチョウは市の保存樹に指定されている。



※令和6年9月13日現在、本堂屋根改修工事中。

4 末吉家住宅 平野上町2-3-5

平野七名家の一つであり、東横堀川に末 吉橋を架けた。平野郷町誌によると、屋敷 の竣工は宝永4年(1707)頃で、築300年 以上たった現在も、その壮麗な姿を保って いる。江戸中期に建設された住宅、門、塀、 西蔵は国の登録有形文化財に登録されて



5 旧南海電鉄平野線平野駅跡プロムナード

チンチン電車の愛称で親しまれた南海電鉄 平野線の軌道跡地に、昭和58年(1983)に 設置された遊歩道。南海電鉄平野線は、大正 3年(1914)開通以来多くの人々の交通手段 として活躍したが、地下鉄谷町線の開通にと もない昭和55年(1980)に廃止された。



6 小林新聞舗店舗 平野本町4-12-3

2つずつ配したアーチ形の窓枠が特 徴のレトロな建物で、「新聞屋さん博 物館」にもなっている。明治22年 (1889)創業の、市内でもっとも古い 朝日新聞の販売店で、建物は昭和4 年(1929)に建てられた。平成19年 (2007)国の登録文化財となった。



7 野中山 全興寺 平野本町4-12-21

1400年前、聖徳太子が建立し、薬師 如来像を安置したのが草創と伝えら れる。焼失により寛文元年(1661)に 再建された本堂は、府下でもっとも古 い木造建築の一つ。境内には「地獄 堂」や「小さな駄菓子屋さん博物館」 等があり、来訪者を楽しませている。



8 赤留比売命神社(三十歩神社)

杭全神社の摂社で、新羅より渡来した女神、赤留 比売命を祀る。俗称の三十歩神社は、応永年間 (1394~1428)の干ばつ時に法華経三十部を読 誦したところ霊験あらたかであったためと言われ る。社殿背後に位置する平野公園は、かつて松山 池として環濠の一部を構成しており、現在でも境内 に残る土塁から当時の姿をうかがうことができる。



9 平野郷十三口の地蔵尊 平野市町3-7、平野上町1-5、平野東2-3・4・11、平野本町1-7・12、 平野本町4-2-4-12-21、平野本町5-9、平野宮町2-4

平野郷は壕と土塁に囲まれた環濠集落で、馬場町、泥堂町、市 町、野堂町、背戸口町、流町、西脇町の本郷七町に、惣門といわ れる十三の出入口が設けられ、地蔵尊が置かれていた。社内口 地蔵、泥堂口地蔵は現在、全興寺に安置されているが、他の11 か所のお地蔵さんは、現在も出入口付近に残されている。



1 奥田邸とその裏の道 加美鞍作1-8-5

河内国付近の10村の庄屋代表を勤めた奥田 家の邸宅。主屋をはじめ、米蔵・乾蔵・長屋門な どが国の重要文化財に指定されている。また、 奥田邸の敷地内の樹木と、裏の道沿いにある 大きな楠とが調和し、落ち着いた景観を形成し ている。※奥田邸見学希望の方は、平日に事 前の電話予約が必要です。



13 如願寺 喜連6-1-38

崇峻天皇元年(588)、聖徳太子により 「喜連寺」として創建され、のちに弘法大 師により再建され、弘仁8年(817)「如 願寺」と改号。木造彩色聖観音立像は平 安期作の府指定文化財に指定されてい るほか、奈良時代の乾漆像である弁財 天、平安期の木造地蔵尊などがある。



14 屋敷小路(喜連環濠地区内)

喜連4-4、6付近

喜連環濠地区の中高野街道沿いには、江戸期から明 治期にかけて建てられた旧家の建物など、歴史的ま ち並みが残されている。古代伎人郷が中世の環濠集 落、近世の惣村へと変遷発展していったことを裏付け る史料群が続々再発見され、その歴史が明らかにな りつつある。 絵画集団スターダスト2023.7作品▶



15 八坂神社と椋の木 _{喜連東2-1-14}

東喜連村の氏神牛頭天王(神道令で全 国的に八坂神社と改称)は村の古代社 媛天神・春日社を合祀する村社だった。 明治42年(1909)楯原神社に合祀され たが、戦争が終わり、昭和26年(1951) 氏子の決議で再建された。境内の椋の 木は根周り4mの大木である。



いんごうろっくちのじぞうそん(きたぐち、しりやぐち、にしぐち、ばくら(ばばくち)、ひがしぐち、みなみぐち)

16 喜連環濠六口の地蔵尊(北口、尻矢口、西口、馬倉(馬場口)、東口、南口) 喜連3-7、4-5、7、6-1、5

六口の地蔵尊の位置と名称から中世喜連 城の惣構がわかる。環濠の口口は戦乱時 には矢倉が建つ村の関所だった。近世に関 所は地蔵堂に変り、村人の生活に溶け込 み、子どもたちを守る仏様に転じ、夏の風 物詩「地蔵盆」として、今も親しまれている。



18 花塚山古墳 瓜破東4-4(瓜破霊園内)

5世紀ごろ築造の円墳である。直径約 25m、高さ約2.5mあり、幅約5mの周 豪があったと推定されている。本格的 な発掘調査が行われていないので、内 部構造はわからないが、頂上部には木 棺直葬の遺物が有るものと推定され



◎ 志紀長吉神社参道

長吉長原2、3丁目

大鳥居から神社鳥居まで約200m続き、平 成7年(1995)に地域住民の費用で石畳 風に整備され、令和6年(2024)に再補修 された。志紀長吉神社は真田幸村が刀剣 と軍旗を奉納し、戦勝を祈願したとされる 場所で、区内の重要な歴史的資源である。



2 川辺八幡神社

長吉川辺1-4-38

石清水八幡宮を勧請。後醍醐天皇 の宸翰を賜る。宝永元年(1704)の 大和川付替工事により現在地に遷 座。境内の楠には黒龍が宿るという 伝承があり、推定樹齢300年以上で 大阪市の保存樹に指定されている。



平野区制50周年と2025年に予定されている大阪・関西万博の開催を記念し、 平野区内の見どころを掲載した「ひらのおすすめスポットマップ」を作成しました! 大阪・関西万博に向けて、おすすめスポットを巡り、平野区の魅力を再発見してみませんか?



平野区50年の歴史

1974 7月22日 東住吉区から分区し平野区が発足

1975 - 9月 第1回区民まつり開催

- 11月 地下鉄谷町線 天王寺一八尾南間開業 平野・喜連瓜破・出戸・長原の各駅開業。南海平野線廃線

・8月 平野区の花に「わたの花」を選定



10月 平野区役所・保健センター、 新庁舎にて業務開始

5月 区制30周年記念「平野区誌」発行

6月 平野区マスコットキャラクター 「ひらちゃん」誕生

2008 3月 JRおおさか東線南区間(放出一久宝寺間)開業 新加美駅開業

2月 区制40周年記念 「平野区今昔アーカイブ」作成

── 3月 JRおおさか東線衣摺加美北駅開業

2024 平野区制50周年

2025 -4月13日~10月13日 大阪·関西万博開催









ANNIVERSARY





